

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語 A
科目基礎情報					
科目番号	0135		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	環境都市工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	Inside Science (野崎嘉信 他、金星堂)				
担当教員	野々村 咲子				
到達目標					
①英文法の知識を深める ②語彙を増やす ③リーディング能力を高める ④ライティング能力を高める ⑤リスニング能力を高める 岐阜高専ディプロマポリシー(C)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができる。	コミュニケーションに必要な英文法の知識をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができない。		
評価項目2	コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができる。	コミュニケーションに必要な語彙の知識をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができない。		
評価項目3	コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができる。	コミュニケーションに必要なリーディング能力をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができない。		
評価項目4	コミュニケーションに必要なライティング能力を活用することができる。	コミュニケーションに必要なライティング能力をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要なライティング能力を活用することができない。		
評価項目5	コミュニケーションに必要なリスニング能力を活用することができる。	コミュニケーションに必要なリスニング能力をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要なリスニング能力を活用することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。				
授業の進め方・方法	毎回、プリントを用いてTOEIC模擬問題および英作文演習(空所補充形式)を行う。総合教材の教科書は予習がなされているという前提で進めるので、予習を行ったうえで授業に臨むこと。				
注意点	TOEICスコアは500点を超えることを目標とすること。 学習・教育目標 (C-2) 100% JABEE 基準1(1): (a) (f)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	TOEIC練習問題	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		2週	プリント教材、総合教材 Chapter 1 No Moon at All?	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		3週	プリント教材、総合教材 Chapter 1 No Moon at All?	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		4週	プリント教材、総合教材 Chapter 2 Tackling Violent Wildfires	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		5週	プリント教材、総合教材 Chapter 2 Tackling Violent Wildfires	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		6週	プリント教材、総合教材 Chapter 3 Check the Soil First	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		7週	プリント教材、総合教材 Chapter 3 Check the Soil First	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		8週	プリント教材、総合教材 Chapter 4 The Beauty of Snowflakes	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
	2ndQ	9週	プリント教材、総合教材 Chapter 4 The Beauty of Snowflakes	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		10週	プリント教材、総合教材 Chapter 5 Coping with the Extreme Weather	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		11週	プリント教材、総合教材 Chapter 5 Coping with the Extreme Weather	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		12週	プリント教材、総合教材 Chapter 6 Is Love an Addiction?	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		13週	プリント教材、総合教材 Chapter 6 Is Love an Addiction?	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		14週	プリント教材、総合教材 Chapter 7 Self-Driving Future	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	
		15週	前期のまとめ	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	

		16週	期末試験解答解説 プリント教材、総合教材 Chapter 7 Self-Driving Future	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
後期	3rdQ	1週	プリント教材、総合教材 Chapter 8 No Needle, No Thread?	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		2週	プリント教材、総合教材 Chapter 8 No Needle, No Thread?	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		3週	プリント教材、総合教材 Chapter 9 Aiming for a Perfect Squeeze	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		4週	プリント教材、総合教材 Chapter 9 Aiming for a Perfect Squeeze	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		5週	プリント教材、総合教材 Chapter 10 Identifying Fake Drugs	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		6週	プリント教材、総合教材 Chapter 10 Identifying Fake Drugs	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		7週	プリント教材、総合教材 Chapter 11 Sensory Judgement is Important	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		8週	プリント教材、総合教材 Chapter 11 Sensory Judgement is Important	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
	4thQ	9週	プリント教材、総合教材 Chapter 12 Dangerous Debris in Space	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		10週	プリント教材、総合教材 Chapter 12 Dangerous Debris in Space	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		11週	プリント教材、総合教材 Chapter 13 A Safer Mission to Mars	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		12週	プリント教材、総合教材 Chapter 13 A Safer Mission to Mars	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		13週	プリント教材、総合教材 Chapter 14 Birds Know How to Glide	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		14週	プリント教材、総合教材 Chapter 14 Birds Know How to Glide	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
		15週	後期のまとめ	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習
16週		期末試験解答解説 一年のまとめ	指定範囲の語彙・文法・作文の予習・復習	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前2,前3,前6,前7,前10,前13,前14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前6,前7,前10,前13,前14
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3					

評価割合

	中間試験	期末試験	平常試験	合計
総合評価割合	0	200	200	400
前期	0	100	100	200
後期	0	100	100	200